



〒780-8014 高知市塩屋崎町1丁目1-10 TEL (088) 833-4394 FAX (088) 833-7373 <https://www.tosaobog.com>



2024 ホームカミングデーに集合した「4の会」のみなさん

最後に、当日は台風で交通機関が乱れる中、県内はもとより遠方より参加いただいた卒業生、当日のイベントに協力、ビンゴゲームの景品に協賛いただいた皆様、同窓会本部の方々、そして濱田校長に感謝申し上げます。

「4の会」は私も54回生から94回生までの4のつく卒業回生で組織されており、約半年前から準備してきました。最大40歳の年の差はありますが、誰も遠慮することなく、どちらかと言うと若いメンバーのほうが積極的に発言し、能動的に動いてくれたおかげで、いいホームカミングデーが開催できたと思っています。「4の会」のメンバーには本当に感謝しております。

結局、私どもの思いが通じたのか、最後は本部が動いてくれて、無事学校(ホーム)に『ホームカミングデー』が返ってくる事が出来ました。その間実行委員長として、多くの先輩や恩師に相談し、助言をいただいたり、ホームカミングデーの始まった「いきさつ」や「始めた思い」など教えていただいたことで、何としてもこの事業を成功させたいという決意と、多くの卒業生に参加いただきたいという思いを強くしました。

今年のホームカミングデー担当「4の会」の会合は初回から波乱含みの展開になりました。昨年まではコロナの影響で学校で開催ができませんでした。これは致し方ない事でした。しかし今年はコロナが5類感染症となり、人の交流も増えてきて、私も54回の幹事会では、事前に学校開催を前提としてイベントなども考えていました、しかし会の冒頭同窓会本部から「今年も学校での開催はできません。」と言われ、「4の会」のメンバーはたぶん全員納得しかなかったと思います。



5年振りの
学校開催
「4の会」 実行委員長
安並 寛明 (54回生)

2024 ホームカミングデー 日時/令和6年8月17日(土) 12:00~

筆山ホール

講演会

私が出会った高知出身の作家たち

翻訳家・書評家(ペンネーム 大森 望) 英保 未来 氏 (54回生)



さすがの講演でした!「高知出身の作家」って17人もいたんですね!その全体像がよく理解できました。母校出身の倉橋由美子、黒鉄ヒロシ、坂東真砂子先輩方などの、常人では知りえないようなエピソードを交え、とても興味をかきたてられるお話でした。特に珍しい話は、英保くんの幼少時、お家に来たこともあり、家族ぐるみでお付き合いのあった安岡章太郎の担当編集者になった話。もう一つ、ご両親とお付き合いのあった「保母のお登美さん」=「宮尾登美子」に、幼少時の英保くんが子守をもらった話。まさに「へっっ?!そんなことがあったの?!」って感じでした。貴重な講演、ありがとう!大盛況でした。

夕部 哲也(54回生)

未来 氏【54回生】



▲同窓生でいっぱい会場



特別授業

深層読み入門講座

～文学作品の行間を読み取るパターンを紹介～

元土佐中高等学校教諭 広井 護 先生 (48回生)

広井先生の記念授業には、定員80名を大きく上回る、約110名の方にお越しいただき、実行委員や当日スタッフも生徒の一員として参加しました。物語を文字通りに読むのではなく、その奥の「深層」を読む楽しさを体感できた50分間でした。

記念授業を快く引き受けてくださった広井先生、開催にあたりご尽力いただいた先生、事務局の方々、実行委員の皆さまに心からお礼申し上げます。小谷 玲誉(94回生)



2024 ホームカミングデー

日時／令和6年8月17日(土) 12:00～

5年ぶりの母校開催となったホームカミングデー。印象に残ったのは、来てくださった皆様の嬉しそうな表情。そこには「母校」という場所に対する得も言われぬ懐かしみが感じられ、お手伝いの身としては「学校で開催出来て本当に良かった」としみじみと感じました。この笑顔が、これからも世代を超えて永く続いていきます様に。窪田 淳夫 (64回生)

講演 & 試飲会

ブラインドテイスティングってなに?!



大倉野氏と同級生の74回生たち

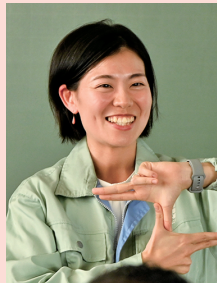
二年連続世界ブラインドテイスティング選手権日本代表二度の日本ソムリエ協会主催ブラインドテイスティングコンテスト日本一 大倉野 泰造 氏 (74回生)

学校ではワインではなく、市販のお茶でブラインドテイスティングを参加者全員が体験。実に興味深く、味や香りを文章で表現する奥深さを感じました。10年ぶりの参加でしたが、久しく会っていない同級生との再会、懐かしいにも程がありました。来年も楽しみです。吉松 孝(74回生)



講演

未来の社長トーク! ～継がない時代に継ぐ理由～



西川屋老舗 13代目跡取り 池田 真浩 氏(83回生)
栄光工業 代表取締役社長 伊藤 ちひろ 氏(84回生)

登壇者2人は跡取りとなるまでの経緯と事業への思いを語り、約60人がじっと耳を傾けました。2人のトークの共通点は、経営者として働くおじいさまやご両親が「楽しそうに仕事をしているように見えた」という点。継がない時代に継ぐ理由、の一端が垣間見えました。竹内 悠理菜(84回生)





来年のホームカミングデー 2025年8月16日(土)開催予定



本部活動報告

会長 西山彰一(48回生)

★5年ぶりの学校でのホームカミングデー開催!!

5年ぶりに2024ホームカミングデー総会が学校で開催されました。

2023年の11月の段階ではコロナ禍が収束に向かっているとはいえ、従来の学校でのホームカミングデー開催を学校に要請するのが難しい状況にありました。年が明けた3月の実行委員会にて、安並寛明(54回生)実行委員長ならびに「4の会」の皆さんより、是非とも学校でのホームカミングデー開催を検討してほしいとの要請を受けて、私は、濱田一志校長先生を始め幹部教職員の方々にお目にかかり、ご理解と協力をいただき学校でのホームカミングデーの開催の運びとなりました。

今回、学校でのホームカミングデーにご参加いただいたみなさまは、それぞれに土佐中・高等学校の学び舎の雰囲気を感じながら、感慨深く、校風の素晴らしさを感じ取っていただけたと思います。改めて、学び舎で実施するホームカミングデーのすばらしさを再認識し、重ねて今回の実施に向けてご協力いただきました教職員の皆様にご感謝すると共に、「4の会」のみなさまによって新たな歴史の1ページが加えら

会員情報の変更はこちらから↓

れ、「5の会」のみなさまにバトンが引き継がれたことに感動と感謝の気持ちが深まって参ります。

★本部支部連絡協議会

8月17日の総会開催前の11時30分より12時30分まで学校の中会議室で同窓会本部・支部連絡協議会が開催されました。

各支部の現状とこれからの歩みについての説明を受け、数々の制約を乗り越えながら、次につなげる知恵や工夫がこれから活かしていくものと確信しました。

本部からは支部支援の補助金の現状と課題などについて説明、協議をいたしました。また、本部の矢野幹事長からは、関東で実施されている『池田基金』について理解を深めるための情報共有を関東支部にお願いいたしました。

支部役員出席者

- 関東支部
 - 門田道也 支部長(52回生)
 - 町田憲昭 副幹事長(67回生)
- 東海支部
 - 瀬沼憲司 事務局長(64回生)
- 関西支部
 - 藤原由親 幹事長(65回生)
- 香川支部
 - 服部哲郎 支部長(43回生)
- 徳島支部
 - 菊池義倫 事務局長(52回生)
- 広島支部
 - 北村弘和 支部長(52回生)

★2025会員名簿の表紙絵は「黒鉄ヒロシ(41回生)」さんに決定!

2025会員名簿の表紙を、黒鉄ヒロシさんが描いてくださることになりました。同窓会のみなさまに宛てた黒鉄ヒロシさんの直筆の心温まるお手紙を、総会にてご披露することができ、会場が大いに盛り上がりました。黒鉄ヒロシさんはご存知のように、幕末を題材にした歴史漫画で特に評判を集め、「ひみこーツ」「赤兵衛」「新選組」などで、数々の賞を受賞されています。



★名簿調査(来年5月)のお知らせ

来年5月には、全同窓生宛に名簿調査のハガキをお届けしますので、ご回答を必ずお願いいたします。ご回答がない場合、お電話で確認させていただくともございますので、ご了承ください。

2024年度「同窓会運営協力金」のお願い

- 協力金 会員1人 1年間 3,000円
- 対象 高知県に在住の会員と7支部に属さない会員
- 集金方法 郵便振替・コンビニ振込・PayPay
銀行振込 土佐中高等学校同窓会
四国銀行潮江支店(普)114-5126968
高知銀行南支店(普)004-3031800
- 会報誌「向陽」に振込用紙同封
何卒、同窓会運営にご理解・ご協力をお願い致します。
土佐中・高等学校同窓会 会長 西山彰一(48回生)

2023年度物故者名簿

(2023.8.1~2024.7.31)(敬称略)
在りし日を偲びご冥福をお祈りいたします。

合6419	合6418	合6522	合6513	合6508	合6506	合6505	合6504	合6503	合6502	合6501	合6500	合6499	合6498	合6497	合6496	合6495	合6494	合6493	合6492	合6491	合6490	合6489	合6488	合6487	合6486	合6485	合6484	合6483	合6482	合6481	合6480	合6479	合6478	合6477	合6476	合6475	合6474	合6473	合6472	合6471	合6470	合6469	合6468	合6467	合6466	合6465	合6464	合6463	合6462	合6461	合6460	合6459	合6458	合6457	合6456	合6455	合6454	合6453	合6452	合6451	合6450	合6449	合6448	合6447	合6446	合6445	合6444	合6443	合6442	合6441	合6440	合6439	合6438	合6437	合6436	合6435	合6434	合6433	合6432	合6431	合6430	合6429	合6428	合6427	合6426	合6425	合6424	合6423	合6422	合6421	合6420	合6419	合6418	合6417	合6416	合6415	合6414	合6413	合6412	合6411	合6410	合6409	合6408	合6407	合6406	合6405	合6404	合6403	合6402	合6401	合6400	合6399	合6398	合6397	合6396	合6395	合6394	合6393	合6392	合6391	合6390	合6389	合6388	合6387	合6386	合6385	合6384	合6383	合6382	合6381	合6380	合6379	合6378	合6377	合6376	合6375	合6374	合6373	合6372	合6371	合6370	合6369	合6368	合6367	合6366	合6365	合6364	合6363	合6362	合6361	合6360	合6359	合6358	合6357	合6356	合6355	合6354	合6353	合6352	合6351	合6350	合6349	合6348	合6347	合6346	合6345	合6344	合6343	合6342	合6341	合6340	合6339	合6338	合6337	合6336	合6335	合6334	合6333	合6332	合6331	合6330	合6329	合6328	合6327	合6326	合6325	合6324	合6323	合6322	合6321	合6320	合6319	合6318	合6317	合6316	合6315	合6314	合6313	合6312	合6311	合6310	合6309	合6308	合6307	合6306	合6305	合6304	合6303	合6302	合6301	合6300	合6299	合6298	合6297	合6296	合6295	合6294	合6293	合6292	合6291	合6290	合6289	合6288	合6287	合6286	合6285	合6284	合6283	合6282	合6281	合6280	合6279	合6278	合6277	合6276	合6275	合6274	合6273	合6272	合6271	合6270	合6269	合6268	合6267	合6266	合6265	合6264	合6263	合6262	合6261	合6260	合6259	合6258	合6257	合6256	合6255	合6254	合6253	合6252	合6251	合6250	合6249	合6248	合6247	合6246	合6245	合6244	合6243	合6242	合6241	合6240	合6239	合6238	合6237	合6236	合6235	合6234	合6233	合6232	合6231	合6230	合6229	合6228	合6227	合6226	合6225	合6224	合6223	合6222	合6221	合6220	合6219	合6218	合6217	合6216	合6215	合6214	合6213	合6212	合6211	合6210	合6209	合6208	合6207	合6206	合6205	合6204	合6203	合6202	合6201	合6200	合6199	合6198	合6197	合6196	合6195	合6194	合6193	合6192	合6191	合6190	合6189	合6188	合6187	合6186	合6185	合6184	合6183	合6182	合6181	合6180	合6179	合6178	合6177	合6176	合6175	合6174	合6173	合6172	合6171	合6170	合6169	合6168	合6167	合6166	合6165	合6164	合6163	合6162	合6161	合6160	合6159	合6158	合6157	合6156	合6155	合6154	合6153	合6152	合6151	合6150	合6149	合6148	合6147	合6146	合6145	合6144	合6143	合6142	合6141	合6140	合6139	合6138	合6137	合6136	合6135	合6134	合6133	合6132	合6131	合6130	合6129	合6128	合6127	合6126	合6125	合6124	合6123	合6122	合6121	合6120	合6119	合6118	合6117	合6116	合6115	合6114	合6113	合6112	合6111	合6110	合6109	合6108	合6107	合6106	合6105	合6104	合6103	合6102	合6101	合6100	合6099	合6098	合6097	合6096	合6095	合6094	合6093	合6092	合6091	合6090	合6089	合6088	合6087	合6086	合6085	合6084	合6083	合6082	合6081	合6080	合6079	合6078	合6077	合6076	合6075	合6074	合6073	合6072	合6071	合6070	合6069	合6068	合6067	合6066	合6065	合6064	合6063	合6062	合6061	合6060	合6059	合6058	合6057	合6056	合6055	合6054	合6053	合6052	合6051	合6050	合6049	合6048	合6047	合6046	合6045	合6044	合6043	合6042	合6041	合6040	合6039	合6038	合6037	合6036	合6035	合6034	合6033	合6032	合6031	合6030	合6029	合6028	合6027	合6026	合6025	合6024	合6023	合6022	合6021	合6020	合6019	合6018	合6017	合6016	合6015	合6014	合6013	合6012	合6011	合6010	合6009	合6008	合6007	合6006	合6005	合6004	合6003	合6002	合6001	合6000	合5999	合5998	合5997	合5996	合5995	合5994	合5993	合5992	合5991	合5990	合5989	合5988	合5987	合5986	合5985	合5984	合5983	合5982	合5981	合5980	合5979	合5978	合5977	合5976	合5975	合5974	合5973	合5972	合5971	合5970	合5969	合5968	合5967	合5966	合5965	合5964	合5963	合5962	合5961	合5960	合5959	合5958	合5957	合5956	合5955	合5954	合5953	合5952	合5951	合5950	合5949	合5948	合5947	合5946	合5945	合5944	合5943	合5942	合5941	合5940	合5939	合5938	合5937	合5936	合5935	合5934	合5933	合5932	合5931	合5930	合5929	合5928	合5927	合5926	合5925	合5924	合5923	合5922	合5921	合5920	合5919	合5918	合5917	合5916	合5915	合5914	合5913	合5912	合5911	合5910	合5909	合5908	合5907	合5906	合5905	合5904	合5903	合5902	合5901	合5900	合5899	合5898	合5897	合5896	合5895	合5894	合5893	合5892	合5891	合5890	合5889	合5888	合5887	合5886	合5885	合5884	合5883	合5882	合5881	合5880	合5879	合5878	合5877	合5876	合5875	合5874	合5873	合5872	合5871	合5870	合5869	合5868	合5867	合5866	合5865	合5864	合5863	合5862	合5861	合5860	合5859	合5858	合5857	合5856	合5855	合5854	合5853	合5852	合5851	合5850	合5849	合5848	合5847	合5846	合5845	合5844	合5843	合5842	合5841	合5840	合5839	合5838	合5837	合5836	合5835	合5834	合5833	合5832	合5831	合5830	合5829	合5828	合5827	合5826	合5825	合5824	合5823	合5822	合5821	合5820	合5819	合5818	合5817	合5816	合5815	合5814	合5813	合5812	合5811	合5810	合5809	合5808	合5807	合5806	合5805	合5804	合5803	合5802	合5801	合5800	合5799	合5798	合5797	合5796	合5795	合5794	合5793	合5792	合5791	合5790	合5789	合5788	合5787	合5786	合5785	合5784	合5783	合5782	合5781	合5780	合5779	合5778	合5777	合5776	合5775	合5774	合5773	合5772	合5771	合5770	合5769	合5768	合5767	合5766	合5765	合5764	合5763	合5762	合5761	合5760	合5759	合5758	合5757	合5756	合5755	合5754	合5753	合5752	合5751	合5750	合5749	合5748	合5747	合5746	合5745	合5744	合5743	合5742	合5741	合5740	合5739	合5738	合5737	合5736	合5735	合5734	合5733	合5732	合5731	合5730	合5729	合5728	合5727	合5726	合5725	合5724	合5723	合5722	合5721	合5720	合5719	合5718	合5717	合5716	合5715	合5714	合5713	合5712	合5711	合5710	合5709	合5708	合5707	合5706	合5705	合5704	合5703	合5702	合5701	合5700	合5699	合5698	合5697	合5696	合5695	合5694	合5693	合5692	合5691	合5690	合5689	合5688	合5687	合5686	合5685	合5684	合5683	合5682	合5681	合5680	合5679	合5678	合5677	合5676	合5675	合5674	合5673	合5672	合5671	合5670	合5669	合5668	合5667	合5666	合5665	合5664	合5663	合5662	合5661	合5660	合5659	合5658	合5657	合5656	合5655	合5654	合5653	合5652	合5651	合5650	合5649	合5648	合5647	合5646	合5645	合5644	合5643	合5642	合5641	合5640	合5639	合5638	合5637	合5636	合5635	合5634	合5633	合5632	合5631	合5630	合5629	合5628	合5627	合5626	合5625	合5624	合5623	合5622	合5621	合5620	合5619	合5618	合5617	合5616	合5615	合5614	合5613	合5612	合5611	合5610	合5609	合5608	合5607	合5606	合5605	合5604	合5603	合5602	合5601	合5600	合5599	合5598	合5597	合5596	合5595	合5594	合5593	合5592	合5591	合5590	合5589	合5588	合5587	合5586	合5585	合5584	合5583	合5582	合5581	合5580	合5579	合5578	合5577	合5576	合5575	合5574	合5573	合5572	合5571	合5570	合5569	合5568	合5567	合5566	合5565	合5564	合5563	合5562	合5561	合5560	合5559	合5558	合5557	合5556	合5555	合5554	合5553	合5552	合5551	合5550	合5549	合5548	合5547	合5546	合5545	合5544	合5543	合5542	合5541	合5540	合5539	合5538	合5537	合5536	合5535	合5534	合5533	合5532	合5531	合5530	合5529	合5528	合5527	合5526	合5525	合5524	合5523	合5522	合5521	合5520	合5519	合5518	合5517	合5516	合5515	合5514	合5513	合5512	合5511	合5510	合5509	合5508	合5507	合5506	合5505	合5504	合5503	合5502	合5501	合5500	合5499	合5498	合5497	合5496	合5495	合5494	合5493	合5492	合5491	合5490	合5489	合5488	合5487	合5486	合5485	合5484	合5483	合5482	合5481	合5480	合5479	合5478	合5477	合5476	合5475	合
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	---



学校近況報告

学校長 濱田 一志 (58 回生)

「さあ、土佐の本領発揮だ」

同窓会の皆様、平素より学校運営にご理解とご協力をいただいておりますこと、心より感謝申し上げます。また、ホームページでは学校をたいへん綺麗に使用していただきありがとうございます。

今年卒業した99回生はコロナ復帰1年目の世代です。先輩たちのお手本を十分に見られなかったにもかかわらず、様々な行事を見事に乗り切つて後輩たちにバトンを繋いでくれました。また、進路については国公立大学現役合格者数160名という土佐高史上最高の数字も残してくれました。

同窓会も学校もまさに土佐の本領発揮の年であります。そんななかでの本校の様子をご報告させていただきます。

【基本情報】

生徒数は、中学759名、高校879名の合計1638名、1クラス約50人で、男女比はおよそ3...2です。

【授業】

高校の時間数は月曜日7限、火〜金6限、土4限です。現高3(100回生)

から、共通テストで新教科「情報」が追加されるため、小テストや長期休みの補習も充実させています。また、ICT整備も着々と進み、授業でのクロムブックの活用が増えています。

【クラスマッチ】

は中学5月18・19日、高校7月17・18日に学校グラ、新グラ、市営体育館にて行われました。バスケ、バレー、ドッジ、ソフトボール、サッカーの5種目が行われ、大いに盛り上がりました。

【高校部活動】

は8月の北部九州インターハイ出場は5競技(バドミントン男、ハンドボール女、自転車、水泳、陸上)であり、中でもバドミントンダブルスではベスト16まで勝ち上がりました。新チームで臨む夏季大会では6競技(バドミントン男子、テニス男女、自転車、陸上、ソフトボール)が県で優勝し活気あふれています。

文化部は様々な全国大会に参加し4競技(放送、棋道、まんが、華道)が全国入賞レベルに輝きました。なかでも、まんが同好会はまんが甲子園で準優勝という快挙を達成しました。昨年と同じメンバーでリベンジを果たしたという物



▲まんが同好会、まんが甲子園準優勝

語は他の生徒たちにも良い刺激になっています。

【中学部活動】

は四国大会に12競技が、全中には4競技(水泳、ソフトボール、ソフトテニス、弓道)が出場を果たしました。中でも水泳部の三善君は400m個人メドレーにて県中学新記録を出して全国3位に輝きました。文化部も棋道、放送、英語研究、総合科学が全国大会で活躍してくれました。

【国際交流】

は、8月5日〜16日イギリス研修に20名、8月17日〜26日ニュージーランド研修に20名が参加しました。生徒たちは現地の高校にて海外の文化にふれ、積極的に会話をする勇気が身に付いたようです。また、8月20日〜26日、東京で開催されたガーナよさこいプログラムも10名が参加しました。同窓生のご協力に感謝申し上げます。



▲海外研修 オックスフォード大学にて

【運動会】

は雨天で1日順延し9月23日(月)秋晴れの中行われ、やぐらの立体感、進行のスピード、応援合戦、ホームゲームなど圧巻でした。優勝の行方は最後の競技までもつれ、赤組の3年ぶり優勝で幕を閉じました。

【財務状況】

新校舎建築の借入金返済など長期計画は順調です。物価高騰によってランニングコストが増加しており、新世紀募金を大いに活用させていただきます。今後も健全な運営に努めてまいります。



▲運動会のやぐら全景

弓道場の建替プロジェクトに向けて

佐野 良仁 (65回生)

はじめに

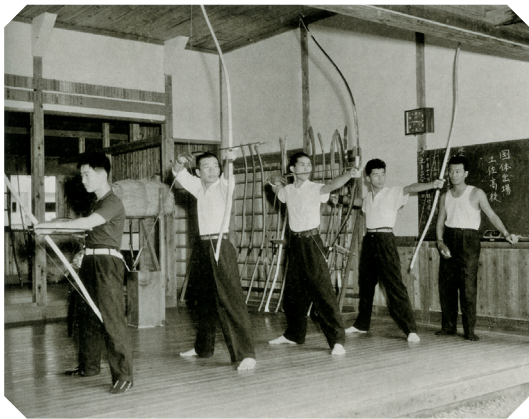
卒業生の皆様、私は65回生の佐野良仁と申します。土佐中・高等学校弓道部で弓道を始めて、高知医科大学、そして今も弓道を続けて弓歴40年になります。顧問の松崎大征先生、日比康貴先生、山脇康司先生が日頃の指導をされているので、邪魔をしない程度に時々弓道場で昇段審査前の射技・体配の指導に伺っています。

弓道場建替

土佐中・高等学校弓道場は楽しい思い出がいっぱい詰まった懐かしい場所です。その弓道場が老朽化と部員の増加で手狭となり、安全性が確保しづらくなったため建替工事予定、令和7年度の運動会後に取り壊しを始めること濱田一志校長先生から伺いました。無理もありません。私が生徒の時から壁に穴が開き、床も「ここを踏むべからず」の場所があり、シャッターの支柱を立てるにはミリ単位の熟練の技が必要で上手く嵌つてもシャッターを閉めるにはぶら下がって反動をつけないと閉ま

りませんでした(床やシャッターはその後改修されましたがすでに経年劣化をきたしています)。

創部については河野剛久さん(34回生・写真右から2人目)の手記をいただき、昭和31年の春で初代顧問は元吉和夫教諭(通称・ガンキチ先生)という事がわかりました。そのころはまだ弓道場はなく、本校創立者の川崎幾三郎氏が戦後に私費で建設していた個人弓道場で練習したそうです。現在の弓道場は築60年前後になるようですが「昭和何年何月に建ったのか不明」です。どなたかご存じの方がいらつしゃいましたら情報提供をお願いします。



創部当時、川崎家道場をお借りして(右端/元吉先生)

弓道場お別れ会

思い出の詰まる弓道場の取り壊し前に弓道部OB/OGに可能な限り連絡して道場に集結し、『弓道場お別れ会』を開催しよう!と考えています。発起人は濱松晶彦さん(54回生)、田中信久さん(61回生)、永野修さん(62回生)、正岡陽一郎さん(72回生)、私・佐野良仁(65回生)です。その夜には弓道部卒業生で大懇親会をしよう!と計画しています。「まだ予想がつかないけど、200人以上かもしれない。」と大風呂敷を広げて、三翠園の大宴会場を予約済みです。日時は令和7



ご支援のお願い

皆様にお願いです。弓道場建替には大変な費用が掛かるそうです。生徒たちが新道場で安心・安全に練習できるように、どうかご支援をお願いします。弓道部は男女とも県内で1、2位を争う強豪になり、全国大会にもしばしば出場しております。今年8月のホームカミングデー案内時に同封された払込用紙(来年も同封予定)あるいは、左記の二次元コードの新世紀募金にて「クラブ活動(指定↓弓道部)」とご指定いただいて募金をお願いできれば幸いです。弓道部卒業の有無にかかわらずご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

現在、各学年の主要メンバーに依頼して、ご案内のための連絡網を構築してもらっているところです。



▲新世紀募金



手狭、危険!?
部員70人がひしめき合う現弓道場

2024年度大学入試総括

進路部長 藤岡優太 (58回生)



私立大学	現	過	計	進学
福岡大	1	1	2	1
崇城大	1		1	
立命館アジア太平洋大		1	1	
計	513	166	679	109
昨年	463	157	620	110

公立大学	現	過	計	進学
高崎経済大		1	1	1
前橋工科大		1	1	
東京都立大	5		5	4
横浜市立大	1		1	1
岐阜薬科大		1	1	
滋賀県立大		1	1	
京都府立大	1		1	1
京都府立医科大	1	1	2	1
大阪公立大	13	2	15	11
兵庫県立大	1		1	1
和歌山県立医科大	1		1	1
下関市立大	1		1	1
周南公立大	1		1	1
高知県立大	1		1	1
高知工科大	5	1	6	3
計	31	8	39	27
昨年	29	3	32	28

短大・大学校・海外大など	現	過	計	進学
就職	1		1	
短大	1		1	1
防衛大学校	2		2	1
防衛医科大学校	2		2	
職業能力開発総合大学校	1		1	
The University of Auckland		1	1	1
専門学校	2		2	2

●合格の状況●

国立大学	現	過	計	進学
北海道大	4		4	3
東北大	1		1	1
茨城大	1		1	1
筑波大	1		1	1
東京大	4	3	7	7
東京医科歯科大	1		1	1
東京工業大	1		1	1
お茶の水女子大	1		1	1
東京学芸大	1	2	3	3
東京農工大	1	1	2	2
一橋大	2	2	4	4
横浜国立大	3		3	3
信州大	1		1	1
岐阜大	1		1	1
静岡大	2		2	1
名古屋大	2		2	2
名古屋工業大	1		1	1
滋賀大	1		1	1
京都市大	8	2	10	10
京都教育大	1		1	1
京都工芸繊維大	2		2	2
大阪大	8		8	8
大阪教育大		1	1	1
神戸大	13	4	17	16
奈良女子大	1		1	1
島根大	1		1	1
岡山大	15		15	15
広島大	8	2	10	9
山口大	1		1	1
徳島大	4	3	7	6
香川大	6	1	7	6
愛媛大	3	1	4	4
高知大	24	6	30	27
九州大	3	2	5	4
長崎大	1		1	
熊本大	1		1	1
宮崎大		1	1	
鹿児島大	1		1	1
計	129	32	161	149
昨年	109	31	140	131

私立大学	現	過	計	進学
岩手医科大		1	1	1
東北医科薬科大		1	1	
国際医療福祉大	2	1	3	
自治医科大		1	1	1
千葉工業大	1		1	
青山学院大	11		11	1
学習院大	3		3	
北里大	1	3	4	
慶應義塾大	10	8	18	3
國學院大	3		3	1
駒澤大	3	1	4	1
芝浦工業大	4		4	1
順天堂大	1	3	4	1
上智大	5	1	6	1
成城大		2	2	
専修大	1	2	3	
中央大	19	5	24	5
東海大		1	1	1
東京慈恵会医科大		1	1	

私立大学	現	過	計	進学
東京女子大	1		1	1
東京農業大	1	3	4	
東京薬科大	2		2	
東京理科大	10	5	15	2
東洋大	1	2	3	
二松学舎大	1		1	
日本大	3	1	4	1
法政大	4	6	10	3
星薬科大	1	2	3	1
東京都市大	1		1	
明治大	16	4	20	3
明治学院大	1	1	2	
明治薬科大	2	1	3	1
立教大	8		8	
早稲田大	17	7	24	9
桜美林大	1		1	1
帝京大	1		1	1
杏林大		1	1	
東京工芸大	1		1	1
横浜薬科大	1		1	
麻布大	1		1	1
神奈川歯科大		1	1	1
朝日大		1	1	
中京大	1	3	4	
藤田医科大	2	1	3	1
愛知医科大		1	1	
京都産業大	6	1	7	1
京都女子大	1	2	3	
京都薬科大	5	3	8	2
同志社大	32	10	42	10
同志社女子大	1	1	2	
立命館大	46	17	63	5
龍谷大	31	1	32	8
大阪経済大	2	1	3	2
大阪工業大	7		7	2
摂南大	3	2	5	
大阪医科薬科大	5	2	7	4
大阪電気通信大	1		1	
追手門学院大	3		3	
関西大	33	3	36	2
関西医科大	1	1	2	1
近畿大	65	29	94	3
大和大	3		3	
甲南大	8		8	
神戸学院大	5		5	
神戸薬科大	9	1	10	2
兵庫大	1		1	
関西学院大	74	12	86	12
兵庫医科大	1		1	1
奈良大	1		1	
岡山理科大	1	3	4	1
川崎医科大	1	2	3	3
就実大	1		1	
川崎医療福祉大	4		4	2
福山大	2		2	1
日本赤十字広島看護大	1		1	
四国大		1	1	
徳島文理大	8		8	
松山大	7		7	
高知学園大	1		1	1
久留米大		1	1	

共通テストですが、4回目を迎え、少しは落ち着いてきたでしょうか。

さて、99回生は新課程入試を翌年に控えた学年でした。志望調査の段階では、安全志向の強まりはみられず、「このまま最後までやりきってくれるだろう」と確信する一方、「最終的に自己採点後の出願では、安全志向となってしまうのではないか」。そんな心配も頭をよぎる複雑な心境の中の2024年度入試でしたが、生徒たちは一人一人がそれぞれの志望に向けた努力を重ね、安易な方向に走ることなく受験に立ち向かってくれました。学年団の先生方もそんな生徒

◆はじめに◆

共通テストも4年目。初年度(96回生)から高知大(朝倉キャンパス)を会場として行われていた試験でしたが、2ヶ月休生最後となる99回生の共通テストは高知県立大(永国寺キャンパス)で行われました。開始以来、定まらない試験難度に加え、コロナ対応など「落ち着かない試験」であった共通テストですが、4回目を迎え、少しは落ち着いてきたでしょうか。

◆2024年度入試結果◆

2024年度入試の現役(99回生)の国公立大学の合格数は160、合格率は85.1%。2年前、2022年度入試結果報告で

「まず、特筆すべきは、現役の国公立大学の合格数150、合格率87.3%です。この成績は、見事な成績を修めた「昨年(95回生)の合格率14.6。合格率80.9%を超えるものであり、脅威的な数字です。」と書きました。この結果報告は決して大げさなものではありません。この成績は、それくらい私にとって強烈なインパクトを残した数字でした。しかし、まさか2年後の国公立合格数が160になるうとは…。この結果には言葉も出ないくらい本当に驚いています。

また、難関大に関しても、東京大7名(現役4名)、京都市大10名(現役8名)、大阪大8名(現役8名)と見事な成果をあげました。国公立大医学部医学科の合格数26名(現役18名)も見事です。

以下、重複する部分もありますが2024年度入試結果の抜粋です。

◆現役国公立大合格数◆

160 昨年138 一昨年150

◆現役私立大合格数◆

513 昨年463 一昨年465

◆国公立大医学部医学科◆

26名(現役18名+既卒8名)

◆難関国公立大(旧7帝大・神戸・橋東工)◆

59名(現役46名+既卒13名)

◆東大・京大◆

昨年40名(現役33名+既卒7名)

◆東大・京大◆

東京大…7名(現役4名+既卒3名)

昨年5名(現役4名+既卒1名)

京都市大…10名(現役8名+既卒2名)

昨年8名(現役6名+既卒2名)

◆2025年度入試に向けて◆

2025年度入試からいよいよ3ヶ月休生が登場します。その幕開けとなる100回生の入試は新課程入試。共通テストでは、新教科「情報」に加え、国語や数学②の試験時間延長とますます負担が大きくなりますが、最後まで粘り強く頑張り通して欲しいと思います。

挫折から生まれた 想定外の夢、実現へ

カーレーサー 岡本大地 (92回生)



チーム「KSM」所属

地元の中学から

土佐高校へ入学

中学生時代は地元・土佐市の公立中学校に入学し、平日は塾へ通い勉強。土曜日、日曜日は、県内唯一の野球クラブチームに所属していました。地元の中學に通いながら、勉強も野球もそれなりにうまくいき、勉強の成績は常に上位、野球では全国大会に何度も出場して自分の将来の可能性に胸躍らせていました。中学卒業後は、ずっと目標だった土佐高校に入学し、引き続き中学時代の勉強と野球を両立させる思いで鼻息を荒くしていました。しかし、実際に高校生活が始まると、勉強についていけず、部活も夜遅くまで。さらに実家の土佐市から学校まで自転車を通っていたことから、往復2時間の通学時間が必要となり、中学時代とは比べ物にならないほど、自身を疲弊させていました。

入学後2ヶ月で挫折

到底、勉強も野球も打ち込めるような身体コンディションではなく、どれかを切り捨てる必要があると、10年以上取り組んでいた野球を辞めることになりました。土佐高校を卒業して大好きな自動車メーカーの社会人野球に所属しプロの選手を目指す。高校入学前に描いていた将来図が、入学後たった2ヶ月で白紙となりまりました。夢を失い、特に目標も無いまま学校生活を送り、まさにもぬけの殻状態でした。次第に、勉強をするやりがいや、昔から好きだったレースゲームをプレイすることで自分を保っていました。学校が終わって帰宅したらすぐにPCを起動、課題や受験勉強をすることもなく、レースゲームに熱中する毎日でした。

人生を変えた

オンラインイベント

高校2年生の時に自分の人生を変えるイベントに出会います。それは「ゲームの世界でオーデイションをして、生き残れば現実のアメリカのレースに参戦する権利を与える」というものでした。全世界で行われたこのイベントはオンライン上で開催され、このシユートアウトに生き残るために、より一層毎日の練習に励みました。そして、なんとか予選を勝ち抜き決勝戦へと駒を進めました。レースの開催時間は欧米のゴールデンタイムが基準となることから、日本では平日の午前中にレーススタートすることになり、その日の学校の授業は寝坊か仮病で遅れて行った気がします。結果的には世界9位でレースを終えることになり、シユートアウトの結果を待ちましたが、そのレースで10位だった人が、オーデイションを勝ち取り現実のレースに参戦する権利を得ました。「なんで自分より順位低かったのに…」ただただ悔しい想いでしたが、このイベントをきっかけに自分の中で「現実のレースに出たい！」という想いが強くなりました。

現実のレースへ、

そしてカーレーサーとして

高校3年生の時、費用負担が少なく参戦できる特別なレースが韓国で開催



車種名 BRMトヨタカローラ高知GR86

されるといふ情報を知り、このレースに参戦したいという想いで校長先生へ「自動車免許の取得」と「海外レースへの参加」を直談判しに行きます。担任の先生と両親のおかげで、当時の校長が快諾してくださり、レース参戦が実現しました。

それ以降は、現実のレースにのめり込み、高校卒業後の進路では大学進学をせずに鈴鹿サーキットのレース村に行くという決断をしました。バイトをしながらレーサー養成所に通ったり、レーシングチームに拾ってもらったりしながらの20代前半を過ごし、その後のキャリアはレース1色で、地元企業を中心にスポンサーやメーカーがバックに付いてくれたことで、現在も地道な活動を続けています。

現在は、プロシリーズのレースに参戦しながらトップカテゴリへのステップアップを目指し活動しています。また、自身のレーシングチームを設立し、新たなレーシングネスを構築しようとして模索しているところです。

旅と酒を愛した文人・大町桂月

―開校記念碑文の筆者と主旨をさぐる―

中城 正堯 (30回生)



母校の創立100周年を記念して

2020年に刊行された『創立百年史』は、千ページ近い大著であり、その冒頭と末尾に「開校記念碑文」が大きく掲げられている。だが校歌や寮歌については、本文で作曲家・作詞家についての紹介が添えてあるのに、開校記念碑文については、「大町桂月撰 1923（大正12）年、川崎・宇田両家への感謝の意を表したものとして保護者が建立。戦災で焼失したが創立50周年を機に振興会が碑文を銅板に刻む形で復刻」と記すのみだ。記念碑建立の主旨も建立者も疑問だし、碑文の筆者紹介もない。

特に筆者の大町桂月については、当時の盛名振りを知る人も少ないと思われるので、その人物像と土佐中との関係、そして開校記念碑の建立主旨と建立者、この碑に対する生徒の受け止め方を、紹介検討したい。（文中敬称略、肩書は現役当時、引用文は原文のまま）

桂月と三根は帝大時代の友人

桂月の本名は大町芳衛で、1869（明治2）年高知市で元土佐藩士の家に生まれる。早くに上京して苦学しながら国粹主義者・杉浦重剛や作家・落合直文のもとで学び、1893年に帝国大学文科大学（東大文学部の前身）に入学する。在学中から美文家で知られ、卒業直後に出した詩文集『黄菊白菊』が青年たちから熱狂的な人気を得る。以来、評論・紀行・随筆を精力的に執筆。日露戦争中には、与謝野晶子が出征した戦線の弟に呼びかけた詩「君死にたまふこと勿かれ」を、国家に対する危険思想として激しく攻撃して話題になる。

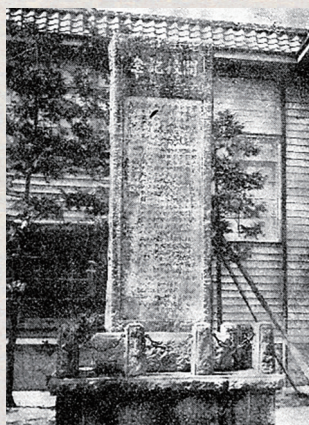
大町文学研究者の高橋正（24回・高知高専教授）は著書『評伝 大町桂月』（高知市民図書館）で、こう論じている。（晶子の詩は弟への肉親の思いを歌い上げた素朴な作品。桂月の批判はこの詩が単なる反戦詩でなく、天皇への批

判・怨嗟の感情を含んでいると解釈。文学作品を批評するのに特定のイデオロギーやモラリズムを持ち出すのは過誤で、両者ともまだ若く、文学論争としては未熟だった。また杉浦の国粹主義は、狭隘・固陋の思想ではなく、開明的・改良主義的・進歩主義的で、大町もその傾向をたどっていた。』

明治初期には西洋列強によるアジア侵略や、明治新政府の行き過ぎた欧化主義もあり、若者が国粹主義に惹かれたのも理解できる。大町と同時期に帝大を目指していた中城直正（筆者の本家嫡男）も、やはり杉浦重剛の私塾に出入りしていた。これは、杉浦夫人が土佐出身・千頭清臣（貴族院議員）の妹であった縁によると思われる。土佐出身の若き学徒は、千頭や佐々木高行公爵など中央で活躍する土佐人の世話を受けながら勉学に励んでいた。そして、1893（明治26）年に大町は帝大の国文、ほぼ同じ時期に中城は国史、長崎県出身の三根円次郎は哲学に、入



大町桂月（『評伝 大町桂月』より）



巨大な開校記念碑



筆山の麓に落成した校舎、右手に開校記念碑



土佐中学 三根校長



恩師ケーベル博士



学友 中城直正



桂浜の桂月先生記念碑 (永国雅彦撮)

学する。まだ教授の主流は外国人で、その講義は英語だった。帝大で中城はドイツ人リースから近代実証史学を学び、中学教師を経て初代高知県立図書館長になる。三根はやはりドイツ人ケーベルから西洋哲学を教わり、各県の中学教諭・校長を経て、新設の私立土佐中学校に迎えられる。三根が土佐中に赴任したころ、大町も東京に出て以来38年ぶりに初めての帰郷を果たし、高知で再会する。なお明治期には、多くの県で中学校(5年で卒業)が最高学府であった。

大町は帝大卒業後に島根県で一時期中学教諭をしていたが、明治後期から大正にかけては著名な文学者として全国を行脚、各地の山野を巡っては紀行文や随筆を執筆、その疲れを酒で癒やす生活を送っていた。いわば今日のナチュラリストの先駆者であった。その雅号・桂月は郷里の月の名所・桂浜から取ったものだが、訪ねたことはなかった。しかし、いつしか望郷の念止み難くなり、

1918(大正7)年に姉や弟子の作家・田中貢太郎(高知市仁井田出身・大気の大衆作家)とともに帰高、先祖の墓参後には月の名所桂浜、浦戸湾口を挟んだ対岸の田中家、さらに県内の景勝地を探訪、40日間にわたって酒漬けの毎日を過ごして帰京する。この際に桂浜で詠んだ「見よ見よみな月のみのかつら浜 海のおもよりいづる月かげ」が、桂月先生記念碑に刻まれて、浜辺に建っている。

こうしてできたのだ。

記念碑主文は建学主旨 「人材の養成」

1930(昭和5)年に刊行された『土佐中學校要覧』は、まず「開校記念の碑」として碑文の全文を掲載、ついで校歌、設立趣意書、目次と続く。趣意書には、「修業後ハ進ンデ上級学校ニ向ヒ他日国家ノ翹望スル人士ノ輩出ヲ期スルモノナリ」とあり、さらに「川崎宇田財団法人寄附行為」第一條は、「本財團法人ハ国家有爲ノ人材ヲ養成スルノ目的ヲ以テ中學校を經營スル」と明記、開校記念碑の主文はこれらを受けている。末尾の「(宇田・川崎)二氏の恩に報ずる」は、生徒への「財団設立者への報恩の念を忘れないよう」との桂月からの呼びかけで、大事なことが建学の精神とは異なる。混同は避けたい。なお『川崎幾三郎翁傳』には、「趣意書は開校にさき

がけて三根校長によって作られた」とある。

ところが母校出身の曾我部・松浦両校長のあと、1991年に6代校長として森田幸雄が着任、宇田耕也(創立者の一人宇田友四郎の孫)理事長とともに、校長も県立城東中学(現追手前高校)出身者となった。すると、翌年の『学校案内』に「本校は、川崎・宇田財団法人により、報恩感謝の理念のもと社会に貢献する人材を養成することを建学の精神として創立」と大きくうたう。なぜか平成の世になって、「報恩感謝の理念」が建学の精神に新しく加えられる。報恩感謝のことが登場するのは三代大嶋光次

校長の時代で、その「教育10目標」の一つとして強調されたが、建学の精神としてではない。そして、森田校長の退任後も、『学校案内』にこのことが使われ続けた。この間、沈滞した学校を蘇らせるべく粘り強く取り組んだのが、宮地貫一(21回、文部事務次官であった。まず1997年の『三根先生追悼誌』復刻を皮切りに、主要人事の更新から新校舎建設まで、本来の建学の精神を蘇らせつつ活気あふれる21世紀の土佐中高へとリードし、創立100周年へとつなぐ。

『創立百年史』には、「報恩感謝は父兄が考えたもので、川崎・宇田氏はこの理念のもとに学校を設立したわけではない」とある。報恩感謝が建学の精神でないことは明確に否定されているが、「開校記念碑に由来し」「父兄の考え」としている。確かに碑文には「父兄相圖り碑を建て、二氏の功を傳へんとす」とある。しかし、当時父兄会は存在せず、「報恩感謝」という言葉も碑文には使われてない。三根校長は、発起人である藤崎朋之(自由民権運動家・高知市長)などの建学主旨を受けて自らまとめた「設立趣意書」と、建学に賛同して巨費を出資した川崎・宇田両家のことも含め、開校の経緯を桂月に告げて碑文を

依頼、学校として建てたのだ。桂月は建学の主旨に加えて二氏への報恩をも子弟に呼びかけているが、記念碑の企画・制作・経費のどこにも「父兄が建立」の実体は残されていない。それに保護者建立なら自ら「父兄既に恩を知る」などとは記させない。碑文後半の「二氏の恩」や「君國の恩」は、いかにも桂月らしい表現である。

開校記念碑文

筆山の麓鏡川の畔校舎巍々として咿唔の聲雲に響く是れ土佐中学校に非ずや教育振へは國家教育振へはれば國家最ふ維新の源流也と並稱せられて土佐より人材多く輩出したは天に武に父兄の教育熱分感して子弟の向上心益なりしに因らざるはあらず 爾來教育振は人材漸く凋落せむと川崎三郎 宇田友四郎 二氏共に慨する所あり巨財を投じて土佐中学校を創立し大正九年四月より仮校舎にて授業を始め大正十一年十一月十八日本校舎の落成式を舉ぐ茲に在校生の父兄相圖り碑を建て、二氏の功を傳へんとす其學を父兄既に恩を知る子弟亦思を知らざるむやむを鐵へ心を練り徳を高くし智能を大にして國家に盡すは二氏の恩に報ずる也 二氏の恩に報ずるは君國の恩に報ずる也

大正十一年月

大町 桂月 撰

昭和四十八年三月

土佐高等学校 父兄一同
土佐中学校

1973(昭和48)年に「父兄一同」によって再建された銅板の開校記念碑

記念碑には、大町桂月撰(文)、松村翠濤書とあるのみで建立者名がない。これは父兄の意を汲みながらも、学校が建てたからだろう。1930年の『土佐中學校要覽』の沿革にも「大正十二年二月開校記念碑建設」とあるのみだ。

筆山の麓「三根先生の理想」

では、この「開校記念碑」を生徒たちはどう受け止めてきたか、さぐってみよう。先に紹介した高橋正(24回)は『評伝 大町桂月』で、大町の名を知ったのは小学生のころとしたうえで、「中学校へ入学した折、(筆山の麓鏡川の畔校舎巍々として…)で始まる開校記念碑文を暗誦させられた」と述べている。高橋と土佐同期で今も元気な山中和正に電話で確認すると、「たしかに暗誦させられたが、もう戦争激化であまり熱心ではなかった。われわれは記念碑や校歌、そして三根校長への思い入れもさほどなく、のちに近藤久寿治(6回)先輩などの熱い思いに触れておどろいた」とのことだった。

そこで、『三根先生追悼誌』(昭和18年刊)に追懷録を寄せた40名ほどの卒業生(1〜16回)の文から、記念碑への言及を調べてみた。井上清(7回、京大教授)の「三根圓次郎先生略伝」に碑文からの一部引用があるのをはじめ、随所に三根校長の教育理念を碑文の文言を使って語っている。しかし、初期卒業生の文には記念碑自体に触れたものはない。

ようやく12回の谷吉一が「土佐中学校の清浄な庭にある創立記念碑は、先生の大理想を裏付け…、向かうべ

き所を語っている」と述べ、14回の松田仁作は「草創以来人道正義を高唱しつつ…、胸から胸へと伝えられし土中精神筆山の麓鏡川の畔自由の天地この理想の学園」と記す。16回の川島徑は「開校記念碑は…：學校創立の大理想であり、…：土中健児よ、奮起せよ」と、呼びかけている。

これは、三根校長が健在で自主自律・自学自習を尊ぶご本人から直接教えを受けた世代と、戦雲が迫るなか二代青木校長に記念碑文を暗誦させられた世代の違いであろう。特に、初期土佐中学生には学力優秀ながら、家が貧しく中学には進めない境遇だったが、校長の家庭訪問による審査や、給費生制度（授業料免除や学費の支給）のお陰で学ぶ機会を得た生徒もおり、開校記念碑にたよるまでもなく校長や創立者への感謝の気持ちが強かったと思われる。

『冬籠帖』に見る桂月の晩年

最後に大町桂月の最晩年を紹介しよう。高知に二度目の帰郷後の、1922（大正11）年からは『桂月全集』（全12巻 興文社）を刊行、この頃から青森県奥入瀬川の葛温泉を拠点に、北海道・東北の名山を探勝、1925年6月この葛温泉で胃潰瘍のため永眠する。享年56歳であった。奇しくも

同年1月に学友・中城直正も上京中の交通事故がもとで亡くなる。数年後、桂月の絶筆となった『冬籠帖』を次男・大町文衛（昆虫学者・随筆家）が和綴の豆本（106×83ミリ）にまとめて出版、わが家にもその1冊が虫食いだらけだが残っている。

『冬籠帖』には、終の住まいと定めた葛温泉での、1924年末から翌年にかけての暮らしぶりと想いが戯画を交えて綴ってある。雪に閉じ込められ、素朴な村人と交わりながら、温泉と酒を存分に楽しんでおり、文豪というより彫軽な好々爺の姿が浮かぶ。燃え上がる爐の火から爐国（ロシア）の赤化を心配した詩もあるが、多くは厳寒の葛温泉の自然とくらしを楽しげに詠っており、スケッチも達者なものである。画文をいくつか転載して、本稿を閉じたい。

『向陽プレスクラブ会員寄稿文集 2020-2024より』

中城 正堯

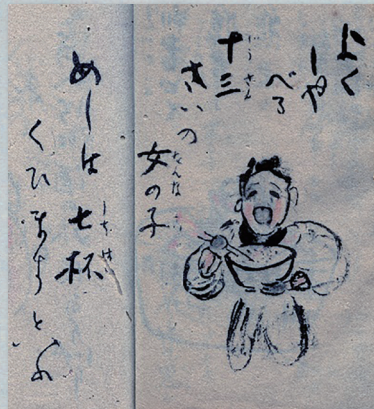
30回生。高知市種崎生まれ。土佐中高では新聞部。学研編集長・くもん出版社長・日本城郭協会理事長を経て、国際浮世絵学会理事。



1. 桂月の絶筆『冬籠帖』
106×83ミリの豆本



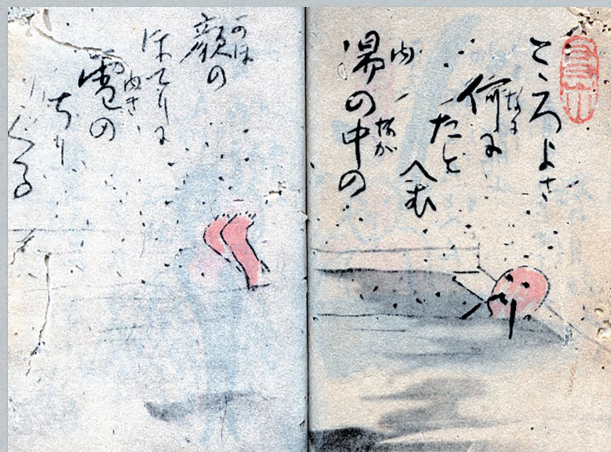
2. 巻頭の本人近影、
このコートがお気に入り



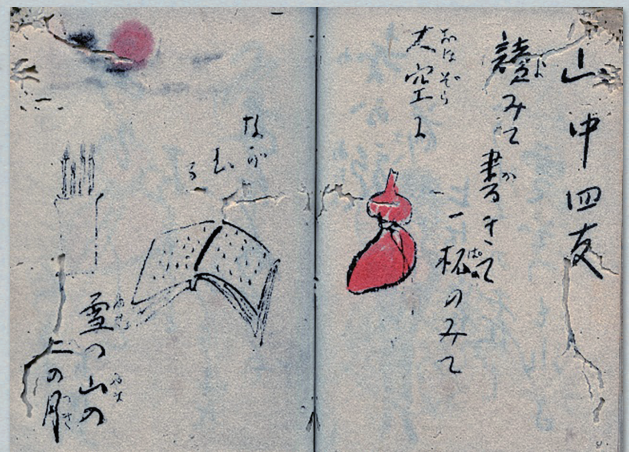
3. よくしゃべる十三さいの女の子
めしは七杯くひますといふ



4. 老人の顔を昔の紅にかへすは酒の外なかりけり



5. ころよさ何にたとへむ湯の中の
顔のほてりに雪のちりくる



6. 山中四友 読みて書いて一杯のみて大空に
ながむる雪の山の上の月

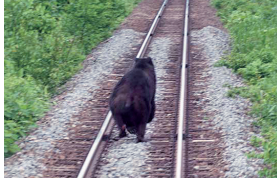
支部だより

北海道支部

事務局長 山本 隆昭(53回生)

北海道支部の活動についてですが基本的な活動は、秋に開催している支部総会と支部便りの寄稿でしたが、COVID-19の影響で総会は2019年度を最後に開催できていません。そのため、役員も全員がそのまま留任ということを経過してりましたが、今年度はなんとか開催しようということで準備を進めております。会員の皆様にお会いできるのは楽しみです。最近の物価高の影響で懇親会費は以前よりも高くなりそうです。

さて、今年是全国で熊の出没が何かと話題になっていますが北海道でも例外ではありません。先日出張で道北に行ったのですが、列車が急に減速したため何が起きたのかと思っていたら車内放送で「熊が前方を走っているため減速しました」との放送。前方に行ってみると写真のように熊が線路の上を走っていました。熊も本気で走れば時速60km位で走るそうなのでそれほど減速しなくても大丈夫だったかもしれません。暫くして左側の草むらに逃げていきまし



熊で郊近別士

た。その先には国道が通っているので国道を渡って逃げて行ったのでしょうか。誰かが撮影したこの時の動画が全国放送のニュースでも流れていました。

関東支部

幹事長 町田 憲昭(67回生)

関東支部ではコロナ前と同じように色々なイベントを開催して、会員同士が交流しています。●筆山会の新年会…毎年1月の新年会は、年の最初に行う明るく華やかな集いになっています。筆山会では定例の昼食会や囲碁将棋も楽しんでいます。

●支部総会…今年2024年は4の回の皆様(34回生から94回生まで)が入念な準備を行い、東京の日比谷公園に面した日本プレスセンタービルを会場として行いました。当日は懐かしい映像も駆使して、会場が一体となる盛大な会となりました。総会は概ね6月に開催しており、高校を卒業して上京し、一息ついたころの学生にも参加してもらい、県外での同窓のつながりの良さを感じてもらいたいと思っています。



●土佐ハイクの会…毎年9月に泊まりがけで、山登りと俳句を楽しんでいます。今年伊豆の金冠山山頂からの駿河湾の眺めを堪能しました。はちきん会…女性会員を中心として、食事や歓談を楽しんでおり、高知の女性の元気の良さを感じられる会です。若手の会…学生や若手社会人を中心に、東京大学駒場キャンパスの生協食堂を会場として、低コストですが中身の濃いハイクオリティなイベントを行っています。今年12月7日(土)の開催を予定しています。●関東支部会報誌の「筆山」は、コロナ期間中も中断することなく、年に1、2回の発行を継続しています(編集部の皆様、ありがとうございます)。38池田基金では、関東支部若手会員

の海外研修・留学を応援しています。イベントに皆勤賞で参加される方ももちろん、初参加の方や数年ぶりに参加する方にも楽しんでいただければと思います。関東支部のホームページでも情報発信しています。

東海支部

事務局長 瀬沼 憲司(64回生)

同窓生の皆様、こんにちは。今年5月20日、四年ぶりに東海支部総会をアイリス愛知で開催することができました。濱田一志校長先生はじめ各支部の皆様にもご参加いただき、久しぶりの総会を楽しく過ごすことができました。



さて、東海地方では名古屋駅周辺の再開発が一段落した後、現在栄地区にて様々な再開発が進められています。まずは中日ビルの建替えが終わり、今年4月にオープンしました。7階までの造形は元のビルを彷彿とする造形になっており、その上の9階から32階にオフィス・ホテルが入っています。また、旧中日ビル時代からあった高知県事務所が7階全国物産観光センターに再開発後も戻ってきました。更には錦三丁目25番街区の大規模プロジェクトが進んでおり、地上41階地下4階高さ211mの超高層ビルで、地下階から低層部にバルコ、4-6階にシアター、9-25階をオフィス、7-8階と26-36階を外資系高級ホテルという複合タワーとなり、栄地区最高層のランドマークとなる予定です。また、名古屋三越栄店の入るオリエンタルビルも建て替えによる再開発を計画されており、地上34階地下4階高さ180mで、再び三越が出店する他、中層部にコンベンションホール、高

層部に高級ホテルの誘致を行う検討がされており、2024年中に計画を固める目処とし、2029年までに建て替える方針です。名古屋駅のリニア発着駅開発に伴うリニューアルも予定されていますので、東海地方の更なる変化に是非ご注目ください。

関西支部

事務局長 岡田 晋典(76回生)

関西・再始動
去る6月2日、久しぶりに関西支部総会・懇親会を復活開催した。前回の開催は2020年2月のことだったから、かれこれ4年4ヶ月ぶりである。その時は「何とかなるだろう」という雰囲気はまだあったが、その2ヶ月後に1回目の緊急事態宣言が発令され、本格的なコロナ禍に突入していく。そして関西支部としても活動がビタリと止まった。
2023年度になって少しずつ他の支部でも総会復活の動きがあったが、関西支部はまだ動けなかった。それはコロナ禍だけが理由ではない。運営の人手不足によるところが少なからずあった。

しかし、そろそろ関西支部としても動き出さねばならない、と立ち上がったのは去年の暮れだったのだろうか。関西に移住された小村前校長先生(49回生)を取り込み、体制を一新して、2024年度に復活すべく動き始めた。【関西・再始動】、ここに始まる――
総会復活にあたっては案内状の簡素化や、申し込みはWebフォームまたはメールに限定し事務作業を低減するなど、総会運営の働き方改革も



できるだけやってみた。Facebookや口コミでも宣伝し、小村先生には教え子さんに声を掛けて頂いた。前回の参加者は50名ほどだったから、今回の目標人数は80名としよう。さて何人集まることやら...という余計な心配もよそに、蓋を開ければ100名超の倍増。ゲストを含めると約120名もの同窓生が集まることとなった。こりやめった、こじやんと多いぜよ。関西弁に染まり忘れつつある土佐弁がつい口になる。会場のキャパは130名、もうギリギリである。支部最多動員数を誇る関東支部の背中が見えた。なんだかんで大盛況を納めたことに、本校より濱田校長先生をはじめ、本部・各支部から多数のゲストと、そして何よりご参加頂いた関西支部の百余名の同窓生へ感謝申し上げたい。これを一過性のものとせず、リピーターにするにはどうやっていくか。そして当日の不手際という改善のタネは確実に来年に向けて育てていくので、今後の関西支部にご期待ください！

広島支部

前支部長 沖田 道子(41回生)

今年2月、Jリーグ・サンフレッチェの翼(ウイング)をイメージした新サッカースタジアムが、広島市の街中に開業しました。「恒久平和と夢や希望を持って明るい未来へ羽ばたく」との願いが込められています。広島駅周辺では再開発が進められており、2025年春には、さらなる賑わいが生まれることが期待されています。広島での支部総会では、支部会員が同級生に直接連絡し、ボランティアで講演をお願いしています。私が支部長を務めた2012年からコロナで中止された期間を除く、11年の期間だけでも、以下のような講師をお招きしました。

ノンフィクション作家塩田潮様/絵本作家西村繁男様(40回生)、佐竹真一 元大阪国際大学教授/森都夫前関東支部支部長(41回生)、

西田博元法務省矯正局長(47回生)、傍士銃太士佐中・高理事長/村木厚子元厚生事務次官(49回生)、中谷元衆議院議員/都築政起広大名誉教授(51回生)、評論家門脇護(門田隆将)様(53回生)、濱口豊ビッグビート代表取締役(56回生)。

各分野でご活躍の多彩な講師の方に少人数でじっくりとお話を伺った後には質疑応答の機会も設けられ、大変贅沢な時間を過ごします。また例年学校/本部/他支部からご出席いただくとともに、松山・宇部・呉・山陰からも同窓生をお迎えしています。土佐弁が飛び交い、年齢を越えた交流が生まれています。



前回2023年の総会では、北村和弘氏(52回生 TH)が支部長に選出されました。2024年11月9日の支部総会では、腹水治療で有名な松崎圭祐要町病院センター長(50回生)にご講演いただく予定です。北村支部長は、若い世代の会員の参加を増やしたいと企画していますので、奮ってご参加ください。今後とも広島支部をよろしく願っています。

香川支部

支部長 服部 哲郎(43回生)

やっとコロナ禍を過ぎた昨年2023年(世界保健機関(WHO)は2023年5月、「新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言終了」と発表)、大黒英男・前支部長(46回生)と交代し、私(服部哲郎(43回生))が支部長役を仰せつかりました。久しぶりの支部便りでありますので、2020年の「向陽」における大黒前支部長の香川支部紹介文を一部拝借します。

「香川支部の前身は、昭和50年に発足した四国電力向陽会であり、当時は20名程度の一企業内の集いであつた。その後、母校や四国銀行の協力を得て、現在の香川支部として正式に発足したのが平成8年のこと。初代支部長には、香川大学法学部の土田哲也教授(32回生)を迎え、総会の開催日も7月第一土曜日に固定し、その名も一年に一度の再会を願って「七夕総会」と命名してスタートした。」

私自身は、瀬戸大橋開通の年(昭和63年・1988年)に、ひよんなご縁で東京の会社勤務から香川大学に赴任致しました。その後、香川支部からの案内を頂き、平成17年「七夕総会」に初めて参加したと思います(当時も土田教授が支部長)。その頃は、JR高松駅近くのシンボルタワー17Fで開催されていましたが、コロナ禍の期間中、その場所が利用不可となりました。

しかしながら場所を変えを行い、また以前の様に、旧交を温めるべく、昨年2023年から「七夕総会」を復活、レクザムホール(香川県民ホール)の大ホール棟6F「シレーヌ」で開催することに。コロナ禍を経て久しぶりに集まることで、同胞が集い盃を交わし、心を通わすことの素晴らしさを、以前にも増して噛み締める総会となりました。



香川支部総会・締め在校歌斉唱時写真(2024年7月6日出@レクザムホール)左が指揮側:(中央)和田 庄平(81回生)、(左側)森田 能史(81回生)、(右側)辻 圭太(85回生)右が参加者

徳島支部

幹事長 山本 俊輔(62回生)

皆様こんにちは。徳島支部62Nの山本俊輔と申します。我々徳島支部は各支部の中でも最も新しい、つまり歴史も浅い支部です。他の支部での総会、懇親会に参加させていただいたが歴史が紡いでいく会の重みを実感しているところ。講演会や勉強会、そういった楽しみも盛り込みつつ同窓生の皆様と交流をする、という最初の一步の部分を毎回学ばせていただいています。

コロナ禍を乗り越えて徳島にも阿波踊りが本格的に戻ってまいりました。コロナ禍の間は中止されたり規模を縮小したり、工夫を重ねての実施でしたが、この時期には台風という邪魔者も登場します。しかし、2024年は久々に4日間晴天の中行われました。よさこい祭りのような賑やかさとはひと味違い、伝統とも異なる様式美を県内の方々には言うまでもなく、多くの県外からのお客様にも堪能していただいています。東海支部の前田支部長も8月12日にご友人とお越しになっていただけました。前田支部長は、なんとよさこいから阿波踊り、という強行軍。残念なことに宿が4月の時点で埋まっております。高松にご宿泊なさいましたが...。さて、徳島支部では2024年11月30日に支部総会、及び懇親会を開催致します。今回は初めて講演会も予定しております。阿波踊り会館では年中阿波踊りをご覧になれます。是非、皆様も高知から近いよううで意外と訪れる機会のない徳島へお越しください。どうぞよろしくお願い申し上げます。



2023 徳島支部総会にて

先輩後輩交流会を引き継いで

堅田 和希 (83回生)

今年から先輩後輩交流会の代表幹事を引き継ぎました。83回生の堅田和希と申します。2014年から続く当会ですが、私は2016年にUターンした時から参加させていたにいております。当時、まだ高知の知り合いがほとんどおりませんでした。が、当会を通して仕事の面でも、プライベートの面でも、たくさんのお出合いがあり土佐のありがたさに改めて気づかせていただきました。

特に同窓会で印象に残っておりますのが、コロナ前の土業の土佐高校卒業生の会の際に、46回生の平山昌信さんが一損得を抜きにした同窓生という繋がりが、南海大地震といった有事の際にこれ以上ない力を発揮する」というお話をされていたことです。様々な分野で活躍する人材の宝庫である土佐高校卒業生の力が結集すれば、どんなことでも乗り越えることができるのではないかとという希望を持って、私自身も精進していかなければならないと思っております。



左/代表・堅田和希(83回生)
右/前代表・吉良祝人(73回生)



講演する岩崎智弥(87回生)



2023.10.28先輩後輩交流会

2025年 来年5月予定 会員名簿調査のご案内

来年は創立105周年を迎えるわが母校。記念事業の一環として、恒例の同窓会会員名簿を来年11月に発行する予定です。より精度の高い名簿を会員の皆様にお届けするために、名簿調査にご協力を宜しくお願い致します。

名簿調査は往復はがきで行います。記載事項に変更ない方も必ずご返信ください。

返信のない方には、電話で確認する場合がありますのでご了承ください。

創立105周年記念名簿作成委員会



THE・ステレオギャング
世界大会 3位!!

95回生の吉本美羽さん、岡本遥樹さんが率いるロックバンドがドイツで開かれた世界最大級のインディーズコンテストで、世界第3位に輝いた!

編集後記

今年も無事向陽をお届けすることが出来、ホッとします。今回は「5年ぶり」というワードが至るところで出てまいります。

やっと戻ってきた学校開催のホームカミングデー、支部だより。頑張る現役生に負けず劣らぬ活躍を見せる土佐高OBOG。これからも元気を与えられる紙面づくりに精進してまいります。 副会長 北村恵美子(47回生)

母校／同窓会本部／各支部

- 土佐中学・高等学校 事務 千頭裕 〒780-8014 高知市塩屋崎町1-1-10 (TEL) 088-833-4394 (FAX) 088-833-7373 (E-mail) tosa@tosa.ed.jp (HP) http://www.tosa.ed.jp
- 土佐中学・高等学校同窓会本部 会計幹事 千頭裕 〒780-8014 高知市塩屋崎町1-1-10 (TEL) 088-833-4394 (FAX) 088-833-7373 (E-mail) jimukyoku@tosaobog.com (HP) https://www.tosaobog.com/
- 同窓会北海道支部 事務局長 山本隆昭 〒001-0018 札幌市北区北18条西6丁目 ARTE 88-305 (TEL) 011-756-2817 (FAX) 011-756-2817 (E-mail) yamat@den.hokudai.ac.jp
- 同窓会関東支部 事務局長 浦田理香 〒104-0061 東京都中央区銀座2-14-1 森山ビル4階 中央銀座法律事務所 (TEL) 03-5565-1315 (FAX) 03-5565-1316 (E-mail) m.urata@chuoginza-law.jp (HP) http://www.tosako-kanto.org/
- 同窓会東海支部 事務局長 瀬沼憲司 〒455-0064 名古屋市中区本宮町6-7-5 フォレスト本宮602 (TEL) 052-837-5834 (E-mail) knzss@kza.biglobe.ne.jp (HP) http://tosakotokai.web.infoseek.co.jp/
- 同窓会関西支部 幹事長 藤原由親 〒541-0046 大阪府中央区平野町1丁目7番1号 堺筋高橋ビル6F 税理士法人アクセス 気付 (TEL) 080-9166-2400 (FAX) 06-6110-5419 (E-mail) y-fujiwara@act-cess.jp
- 同窓会広島支部 事務局長 大谷準一 〒734-0007 広島市南区皆実町6-3-26-902 (TEL) 082-253-5759 (FAX) 082-254-7523 (E-mail) spat56z9@vesta.ocn.ne.jp (HP) http://tosa-hiroshima.xii.jp/
- 同窓会香川支部 事務局長 野村喜久 (担当=安岡和浩) 〒760-8573 高松市丸の内2番5号 四国電力(株) (TEL) 090-4788-2143 (E-mail) yasuoq15529@yonden.co.jp
- 同窓会徳島支部 事務局長 菊池義倫 (担当=藤坂徹) 〒770-0841 徳島市八百屋町3丁目10-2 四国銀行徳島営業部 (TEL) 088-622-4141 (FAX) 088-623-6676 (E-mail) t-fujisaka301-p@shikokubank.co.jp